



報 廣



七夕まつりキャラクター  
たっけー☆☆

FUSSA



平成24年(2012年)

8月1日 No. 860

発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課  
〒197-8501 福生市本町5  
☎042-551-1511 (市役所代表)  
毎月1日・15日発行

▼福生市8月の主なイベント▼

2日(木)~5日(日)	福生七夕まつり
17日(金) ~26日(日)	子ども宇宙博 宇宙人は君だ!
26日(日)	総合防災訓練

ホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

今号の主な記事

2面 福生市表彰式が行なわれました 3面 市民契約保養施設のご案内 4面 都営住宅入居者募集 5面 現況届をお忘れなく  
6面 保育室併設講座「子どものリズムで子育て」 7面 としょかんこどもにんぎょう劇 8面 敬老大会にお越しください

# 「平和のつどい」を 開催します

## 「市民が語る福生 語り継ぐ昭和」

市主催の「平和のつどい」を開催します。入場無料となっておりますので皆さん、お誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください。25回目となる今年は昨年に引き続き、「市民が語る福生 語り継ぐ昭和」をテーマに、貴重なその当時のお話を講演していただきます。

今年、井上寅吉氏に戦前から戦後にかけての福生や当時の昭和飛行機・横田基地での体験談をお話いただく予定です。講演の後で、企画委員や会場の皆さんにもご参加いただき、講演内容をもとにディスカッションをする座談会を予定しています。また、ご好評につき今年も福生市在住のジャズシンガー、ダイナマイト・ミキ氏、3・3シンガーズをお招きし、懐かしい歌謡曲を会場の皆さんと一緒に歌う演奏会を企画しています。

【講演会】 井上寅吉氏

テーマ 「福生の戦前・戦後」

【座談会】 坂本丁次氏・石川和夫氏・菅井憲一氏・高橋桂子氏  
井上寅吉氏

【演奏】 ダイナマイト・ミキ 3・3シンガーズ

テーマ 「みんなで歌おう昭和」

日時 8月12日(日)午後1時開場、1時30分開演

場所 市民会館小ホール(つつじホール)※入場無料

定員 260人(当日先着順となりますのでご注意ください。)

問合せ 総務課総務係 ☎551・1576

## 厚みのある声

平和のつどい企画委員 坂本丁次

一九四五年の終戦から六十七年。「昭和」とはどういう時代だったのか、そこで得たものは何だったのか。忌まわしい戦争を繰り返してはならないと、平和のつどいは十年間、市民が「私の昭和」を語り、厚みのある声をホール内に響かせてきた。

周辺の市には、市民が波乱万丈の昭和を書き、これを出版した本は数多い。だが、市民が肉声で語った昭和の体験をまとめた記録集は少ない。昭和を語る声からは、命の大切さを訴え、戦争を風化させまいとの思いが強く伝わってくる。

今年は大正生まれ「福生の寅さん」が登場する。「戦時中の苦々しい記憶からは逃れられない」としながらも、当時の秘話などを披露してくれる。

### 公民館主催平和講演会「戦争絵画とその時代」

戦争絵画が当時の著名な画家たちによって描かれていたことをご存じでしょうか。

この講演会では、二人の語り手から当時の世相や時代背景などをお話していただき、戦争絵画という新たな切り口で平和について考えます。

講演会日時 8月11日(土)午後2時~4時※戦争絵画展示会は8月8日(水)~16日(木)午前9時~午後9時(13日(月)を除く)に市民会館展示スペースで開催

場所 市民会館公民館第4・5集会室

定員 80人※参加費無料

講師 中込達夫氏(元公立小学校校長)、市丸節子氏(日展会員)

申込み 不要。講演会、展示会とも直接会場へ。

問合せ 公民館事務所 ☎552・2118

## 全力投球



赤ちゃんといっしょ

栄冠は君に輝く

夏の高校野球の季節がやって来ました。私も公務の合間をぬって、久しぶりに母校の応援に行ってきました。高校球児たちのはつらつとした一挙手一投足を見ると、必ず頭の中でメロディが流れるのが、大会歌の「栄冠は君に輝く」です。

高校時代はこの曲を常に口ずさみ、何とか甲子園出場を思っていました。何とか甲子園出場を思っていました。後輩に夢を託しています。今がある時、この曲が恋する人を念頭において作詞されたこと聞き、大変驚いたことを覚えています。

この歌の作詞者は加賀大介さん。昭和23年に、5千篇を超える全国公募作品の中から選ばれました。しかし、応募時の作詞者は加賀道子さんとなっていました。実は大介さんが、婚約者の道子さんの名前で応募していたのです。その後お二人はめでたく結婚され、20年後に真相が明かされるまで、この歌は道子さんの作品として知られてきました。

この歌の「君」が高校球児だけでなく、恋する人でもあったとは、野球に没頭していた高校時代には知る由もありませんでした。しかし、そのどちらかが若さの輝きです。若者たちが夢中になれるものを見つけて、輝ける日々を送れるよう、見守っていききたいと思えます。

